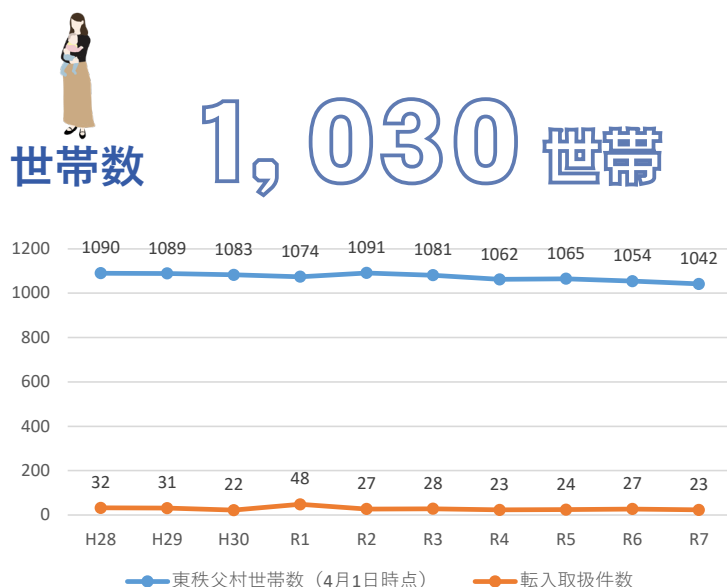


暮らしを数字で見る

東秩父村では、地域のつながりを大切にした暮らしが営まれています。世帯や年齢構成、住まいなど、私たちの日々の暮らしにも、さまざまな「数字」が隠れています。

では、実際に村ではどのような人が、どのような暮らしを営んでいるのでしょうか。数字から、東秩父村の「暮らし」の姿を見てみましょう。

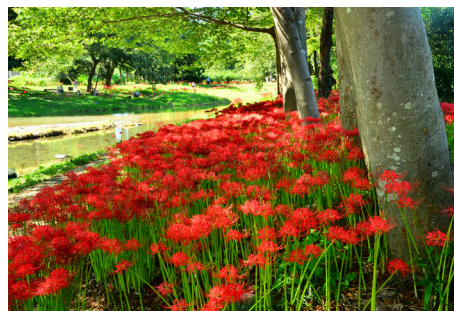


▶ 転入は年間20～30件程度で推移しています。新たに村で暮らし始める人がいる一方、世帯数の減少は続いており、人口減少への対応とともに、村外から「住んでみたい」と思ってもらえる環境づくりが求められます。

持ち家率 96.2%

村・県営住宅や社宅を除くと
全て持ち家！

村の世帯数は1,030世帯。そのうち、96.2%が持ち家で暮らしています。多くの世帯が自分の家を持ち、住み慣れた地域で暮らしていることから、村への愛着や定住の多さがうかがえます。これからも、今ある住まいを大切にしながら、安心して暮らし続けられる住環境を守っていくことが重要です。



－ 主な交通手段は？ －

・ 自家用車

▶ 移動の選択肢が限られ、車が生活に欠かせないため、交通手段として圧倒的に利用が多くなっています。

・ バスやタクシーなどの公共交通機関

▶ 自分で車を運転できない・運転を控えている高齢者や免許を持たない人などの移動手段として、利用されています。

・ 非営利団体による運送サービス

▶ バスやタクシーだけでは移動を確保することが難しい地域で、通院や買い物など、日々の暮らしに必要な移動を支える交通手段の一つとして利用されています。

村内では自家用車による移動が主流ですが、バスやタクシー、非営利団体による運送サービスも、地域の暮らしを支える大切な交通手段となっています。これからも、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域の実情に合った交通手段を守り、充実させていくことが重要です。

－ 暮らしの魅力 －

- ・ 四季を感じられる自然環境
- ・ 地域のつながりの強さ
- ・ 伝統行事や文化の継承

▶ 数字だけでは見えない“暮らしやすさ”が、東秩父村にはあります。

発見しよう。